

1. 令和6年度 法人本部事業報告

(1) 理事会の開催

第1回 理事会 令和6年6月12日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和5年度事業報告
 2. 令和5年度計算書類及び財産目録の件
 3. 給与規則一部改定
 4. 金融債購入の件
 5. 有料老人ホーム自主行動基準について
 6. 評議員会の日時・場所及び提案議案

報告事項 ・理事長職務執行報告等

第2回 理事会（書面）令和6年9月10日

- 主な議題
1. 金融債購入の件
 2. 西館空調入れ替えの件

第3回 理事会 令和6年11月20日

- 主な議題
1. 役員賠償責任保険の件
 2. 外国留学生の奨学金連帯保証の件
 3. 本部複合火災報知器入れ替え

報告事項 ・理事長職務執行状況・上半期経営成績・福生会居宅介護事業所運営指導等

第4回 理事会 令和7年3月12日

- 主な議題
1. 令和6年度補正予算書
 2. 法人本部 施設 各令和7年度事業計画書
 3. 令和7年度収支予算書
 4. フロイデnhハイム施設長中辻加奈任命
 5. 就業規則一部改定
 6. 育児休業規定一部改定
 7. 本館・西館火災報知設備入れ替え
 8. 評議員会日時場所及び提案議案

(2) 評議員会の開催

第1回 （定時）評議員会書面開催 令和6年6月27日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和5年度事業報告
 2. 令和5年度決算報告

報告事項 ・理事長職務執行状況等

第2回 評議員会 令和7年3月24日

- 主な議案
1. 令和6年度補正予算書
 2. 法人本部 施設 各令和7年度事業計画書
 3. 令和7年度収支予算書

(3) 監事監査の実施 令和6年6月7日

(4) 社会福祉充実計画について

社会福祉充実計画は、令和6年度は職員育成事業と有料老人ホーム改修事業（設備の高機能化及び屋上防水工事）を計画していました。職員育成事業においては資格取得奨励者と改修事業においては、外壁補修と男子大浴場の臨時改修工事が発生したため、施設全体の大規模改修は令和7年度に予定しています。

なお、地域公益事業として「みんなの食堂」は、法人独自で取り組む地域における公益的な取り組みとして今後も目の前の困っている方に対する支援として継続していきます。

(5) 法人全体について

令和6年度は、新卒採用は介護職員6名採用できましたが、残念ながら5月高卒1名退職、7月専門学校卒の外国人留学生1名退職、5年結婚出産帰国した職員帰らず、奨学金賠償検討。結局7年度に復帰しました。7年度にむけての採用活動も内定者辞退され新卒は採用できませんでしたが、中途採用で即戦力になる経験者や他職種からの転職組を4名採用できました。

福生会盆踊り大会は、ボランティアの踊り子さんに施設を回っていただき皆さんに喜ばれました。ボランティア復活により、行事がコロナ前より新鮮に楽しく開催されました。

令和7年1月、西館（嘉齢荘、デイサービス、ロイヤルケア）エアコン2台入れ替えました。修繕工事の多い年でしたが、利用者様にご迷惑をかけないように努力しました。

また、嘉齢荘に続きロイヤルケアにもWIFIを導入し、より敏速に職員間の連携が取れ、利用者様へのサービスの向上を図れるようにしています。

全事業所共通のBCP（大阪府簡易版）を5年度作成し、6年度はBCP研修だけでなく訓練を実施しました。災害用食料保管場所確認、試食、業者との契約、職員連絡網整備、ライン登録等、少しずつブラッシュアップしています。

(6) 有料老人ホーム運営について

令和6年度は、特別食（1980円）が好評で、喫食数は前年度より増加する結果となりました。一方でメニューのマンネリ化ご指摘を受け、令和7年度は、郷土料理、世界の料理を取り入れています。

営業活動に関しては、インターネット広告の新規登録や資料送付後のフォローを行い次年度の入居申し込みへ繋げました。新入居は、11室16名様、内ご夫婦5組、ロイヤルケア2室。入居契約解除は8名様、死亡退去7名様6室。残念ながら途中退去1名様。介護付き有料老人ホームとして期待される手厚いケアと細やかな気配りに努めていきます。専門職や社会的地位の高かった方のプライドを守りつつ、失礼のないようにケアさせていただくことが大切かと思っています。

6年度はGHP、大浴場、外壁落下等、急な修繕に追われ、大規模修繕まではできませんでしたが、入居者様にご迷惑をかけないように、年2回の運営懇談会の他に、工事についてはいねいにご説明し修繕工事を実施していきます。

7年3月には、新型コロナウイルス入居者様7名（内3名入院）職員3名感染いたし保健所に報告いたしました。今後とも感染防止対策をとり、敏速に対応してまいります。

(7) 社会貢献事業について

毎日型「みんなの食堂」はコロナ禍前以上に利用されています。必要に応じ食料配布も行いました。伏尾老人会の方には「ぬくもりカフェふせお」厚生労働省新オレンジプラン（認知症施策）に基づく堺市の認知症予防対策、久世校区の子供のための「みんなの食堂in福生

会」を再開し2ヶ月に1度開催し、月1度は食材配布をしています。12月に農林省より政府備蓄米450kgいただき4回に分けて、食育教育と副菜を付けて子ども1人1回2kg、月1回以上子ども家庭に配布しました。7年度は600kgを年4回いただく予定です。

大阪しあわせネットワーク 総合生活相談（生活困窮者レスキュー事業）の支援活動も相談があれば受けています。例えば、地域包括支援センターや地域福祉係から生活困窮者の方が紹介され「みんなの食堂」へ来られたり、食材配布をしています。

毎日型「みんなの食堂」令和6年度407食提供、子ども食堂約100食+食材提供。特にお米や食材単価が上がり、生活破綻された方、子ども家庭に大変喜んでいただいています。

食材は、フードバンク、ライフ株、いずみ市民生協、中辻商店、太平産業、大阪府（高島屋福祉部）、餃子の王将、農林水産省政府備蓄米、NPOむすびえ子ども食堂ネットワークから情報をいただき、積極的に配布しております。（7年度は関西万博にも食材申し込み済み）

2. 各施設事業運営状況

入所者の皆様を楽しみながら懐かしさを感じていただくための取り組みも行っています。その一環として、毎月都道府県別の特色ある食事を提供しています。この取り組みは、故郷の味を通じて懐かしい記憶を呼び起こしたり、過去の旅行体験を思い出すきっかけとなることを目的としています。また、日本各地の食文化を楽しむことで、食事を通じたコミュニケーションの活性化にもつながっています。

新型コロナウイルスは令和5年5類感染症になりましたが、ご入居者様の安心安全を第一に考え施設内は感染対策を継続し、ご面会は予約制とさせていただきます。令和7年2月末、嘉齢荘ショート利用者様嘔吐、続けて数名の入所者様嘔吐され、瞬く間に対応した職員が嘔吐下痢で休み、3月初めノロウイルス集団発生認定。すぐ福生園入所者様感染、調理職員3人下痢（検査ではノロマイナス）、嘉齢荘、福生園とも10人を超え保健所報告し、15日終了してから保健所指導を受けました。一時は給食提供を心配し業者交渉しましたが、調理職員は給食を食べておらず給食が原因ではないので給食停止せず済みしました。居室配膳しました。